

第 1552 圖

じふじばな科



すかしたごぼう  
Nasturtium palustre DC.  
(=Roripa palustris Besser.)

田園・田間・路傍ノ濕地ニ生ズル越年生草本ニシテ高サ50cm内外、莖ハ直立シ單獨或ハ二三叢生シ太クシテ丈夫ナリ、上方ニテ分枝シ、全體無毛ナリ。根葉ハ多數簇生シ長サ7-15cmニシテ深く羽狀ニ分裂ス。上葉ハ殆ンド分裂セズ披針形ヲ成スコトアリ。春夏ノ候各分枝上ニ頂生ノ總狀花序ヲ成シテ有梗ナル多數黃色ノ小形十字花ヲ開ク。萼片ハ長橢圓形2mm許。瓣片ハ筒形ニシテ萼片ヨリ僅ニ長シ。四強雄蕊、一雌蕊アリ。果實ハ稍屈曲セル短角ニシテ開出シ、長サ8mm許ニ達シ、果柄ハ角果ト略ボ同長ナリ。和名ハ透し田牛蒡ノ意ナラン、田牛蒡ハ其根ニ基ヅキシ名ナランモ透シハ其意著者ニハ不明ナリ。

第 1553 圖

じふじばな科



こいぬがらし  
Nasturtium sikokianum  
Franch. et Sav.

本州中部以南ノ地ノ田間ニ生ズル一年生草本ニシテ高サ20cm内外。莖ハ直上シ無毛ニシテ分枝シ或ハ單一ナリ。葉ハ互生平開シ、長橢圓形ニシテ長サ5-10cm、羽狀ニ全裂シ、裂片ハ十箇内外、缺刻狀鋭鋸齒縁ヲ具ヘ無毛、頂生小葉ハ他ヨリモ稍大ナリ。葉柄基脚ハ半抱莖ス。上部ノ葉ハ漸次ニ小ナリ。四月、小葉花ヲ葉腋ニ單生シ花梗極メテ短シ。萼片四箇、直立シテ開カズ。花瓣ハ四箇倒卵形ニシテ斜開。四強雄蕊ハ六箇ニシテ萼ト同長ナリ。雌蕊ニハ殆ンド花柱ヲ缺ク。花後短キ圓柱狀ノ長角果ヲ結ビ長サ1cm内外、全面ニ短毛ヲ密布ス。和名ハ小大芥ニシテ小形ナル大芥ノ意ナリ、飯沼慾齋ノ草木圖説ニ之レヲすかしたごぼうトス今 N. palustre DC. ノすかしたごぼうト混淆スルヲ以テ特ニ本品ヲこいぬがらしト爲セリ。漢名 風花菜 (誤用)

第 1554 圖

じふじばな科



おらんだがらし  
一名 みづがらし  
Roripa Nasturtium-aquaticum  
Hayek.  
(=Sisymbrium Nasturtium-aquaticum L.;  
Radicula Nasturtium-aquaticum Brit.  
et Rendle; Nasturtium officinale R. Br.)

歐洲原産ニシテ明治三、四年頃ニ我邦ニ入りシ多年生草本、白色ノ鬚根ヲ出シ清流ノ中ニ繁茂ス。莖ハ綠色中空ニシテ高サ50cm餘、下部ハ傾倒シテ各節ニ鬚根ヲ發ス。全體平滑。葉ハ多數羽狀葉ニシテ互生シ、各小葉ハ一乃至四對ヲ成シテ互ニ稍離在シ、卵形或ハ橢圓形ニシテ邊緣波狀ヲ呈シ底部ハ不同ナリ。初夏ノ候莖頂ニ總狀花序ヲ成シテ密ニ白色小形ノ十字花ヲ着ケ花軸初メ短シト雖モ後延長ス。萼片ハ長橢圓形、長サ約2.5mm。花瓣ハ鈍頭廣筒形ニシテ長サ約6mmニ達ス。四強雄蕊、一雌蕊アリ。花後延長セル果軸ニ斜上シテ稍内曲セル長角ヲ生ジ其長サ1-1.7cm許。嫩キ生葉ハ食用ト成リ通常洋食ニ添ヘテ皿ノ上ニ置カル。俗ニうおーたーくれず (Water-Cress) ト呼ブ。本種ハ繁殖極メテ旺盛ニシテ今ハ我邦全般ニ歸化植物ト成リテ野生狀態ヲ呈シ時ニ深山ノ湖畔ニ見ルコトアリ。和名ハ蘭芥ハ外來種ナルコトヲ示シ、水芥ハ水中ニ生ズルヨリ云フ。

## やまがらし

一名 いぶきがらし・ちゅうぜんじな  
Barbarea vulgaris R. Br.  
var. stricta Regel.

山地溪流側ノ砂地等ニ生ズル多年生草本ニシテ高サ20-60cm許、全株無毛ナリ。根ハ強壯ニシテ白色。莖ハ綠色ニシテ直立シ粗大ニシテ分枝シ、瘠小者ハ單一ナリ。根生葉ハ叢生シテ長柄ヲ具ヘ、頭裂片ハ圓形心臟底、側生裂片ハ小形ニシテ稀少ナリ。脚葉亦有柄ニシテ頭大羽裂シ、頂裂片ハ圓形或ハ心臟形ニシテ邊緣波狀ヲ成ス。稍葉ハ無柄ニシテ基部耳形ヲ成シ莖ヲ抱ク。元來下方葉ハ頭大羽裂スルモ上方葉ハ單一ニシテ波狀或ハ鈍頭鋸齒縁ヲ成ス。六七月頃頭頂ニ直立セル頂生總狀花序ヲ成シテ稍大ナル有梗多數ノ黃色十字花ヲ開キ花丁ルニ從ヒ花軸長ク伸長ス。萼片ハ長橢圓形、長サ8mm許。花瓣ハ廣筒形ニシテ狭底、先端鈍形、長サ約5mm許。四強雄蕊、一雌蕊アリ。花後長サ約4cmノ長角ヲ結ビ約1cm長ノ柄ヲ以テ直立シ、殼片ハ種子ノ部ニ於テ稍膨ム。和名ハ山芥ニシテ山ニ生ズルからシノ意ナリ。漢名 山芥菜 (誤用)

## だいこん (萊菔)

Raphanus sativus L.

var. acanthiiformis Makino.

(=R. acanthiiformis Morel; R. macropodus Lev.; R. sativus L. var. macropodus Makino.)  
日常ノ重要蔬菜トシテ普ク栽培セラルル越年生草本。其土中ニ直下セル地中部ノ上部ハ莖ニシテ中部以下ノ大部分ハ根ナレドモ其境界ハ外観判然タラズ、白色多肉ノ長ナル圓柱形直根ヲ成ス。根葉ハ叢生シ大ニシテ長サ30cm餘ニ達シ通常粗毛ヲ有シ、頭大羽狀ニ分裂シ裂片開出シテ數多ク、中央ノ主脈ハ白色多汁ナリ。春時、地上ノ綠莖ハ伸長シテ直立シ1m内外ニ達シ、上方分枝シ各枝端ニ總狀花序ヲ成シテ淡紫色或ハ殆ド白色ノ稍大形十字花ヲ開キ各小梗アリ。萼片ハ線狀長橢圓形、長サ7mm許。花瓣ハ廣倒卵狀楔形ニシテ長爪アリ、長サ萼片ニ倍ス。四強雄蕊、一雌蕊アリテ花絲ノ基部ニ小腺體アリ。花後多少括レアル太キ長角ヲ結ビ長サ4-6cm許アリ、果皮粗胞質ニシテ開裂セズ括レ毎ニ赤褐色ノ種子アリ。園藝品種多ク從テ種々ノ名アリ、櫻島だいこんハ其雄大ナル者ナリ。和名ハ大根 (おほね) ノ音讀ナリ。此種原産ハ歐洲ニシテ彼ノららしハ其最原種ナリ、往古支那ニ入りシコトハ其古名蘆菔ナル音譯名ニ由テ知ラル、萊菔・蘆菔・蘿蔔ハ單ニ蘆菔字面ノ變化ノミ、原語ハ蓋シrape (raphus) 若クハ raphane ニ由來スルナラン。

## はまだいこん

Raphanus sativus L.

var. acanthiiformis Makino.  
forma raphanistroides Makino.

諸國ノ海岸砂地ニ自生スル越年生草本ニシテ元來家植品だいこん種子ノ往時ニ逸出シテ生ゼシ者ナリ、故ニ肥料ヲ施シテ之レヲ栽培スレバ復ビ普通ノだいこんト成ル。全體體セテ粗剛ナル質ヲ帶ビ粗毛多シ。根ハ長クレド太カラズ且ツ質剛ク食用ニ佳ナラズ、然レドモ肥地ニ生ズレバ可ナリ肥大ト成リテ軟カシ。葉ハ根頭ニ簇生シ太キ柄アリテ平開シ羽狀ニ全裂シ、裂片ハ上部ノ者ホド大ニシテ兩面ニ硬毛散生シ、濃綠色ヲ呈ス。莖ハ直立、高サ30-50cm、綠色ニシテ下部粗毛ヲ生ジ、疎ニ分枝シ、四月頃其枝頂ニ初メ平頭ノ總狀花序ヲ着ケ紅紫花 (培養だいこんノ花色ヨリ濃シ) ヲ開ク、偶ニ帶白色ノ者アリ之レヲしらばなはまだいこん (subforma albescens Makino) ト云フ。花軸ハ花後漸次ニ伸長ス。萼四片直立、淡綠色。花瓣ハ倒卵狀楔形、長爪、紫脈アリ。四強雄蕊、一雌蕊アリ。花後粗胞質ノ長角ヲ結ビ稍連珠狀ノ莢レアリ、末端ハ尾狀ニ鋭尖ス、熟スルモ開裂セズ、莢枯レ地ニ委スレバ後ニ縊レノ處切レテ數箇ト成リ各箇ニ種子ヲ藏ス。

第 1555 圖

じふじばな科



第 1556 圖

じふじばな科



第 1557 圖

じふじばな科

